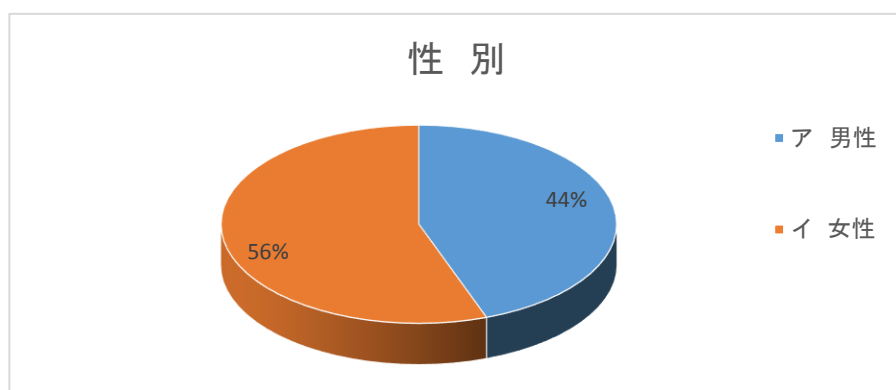


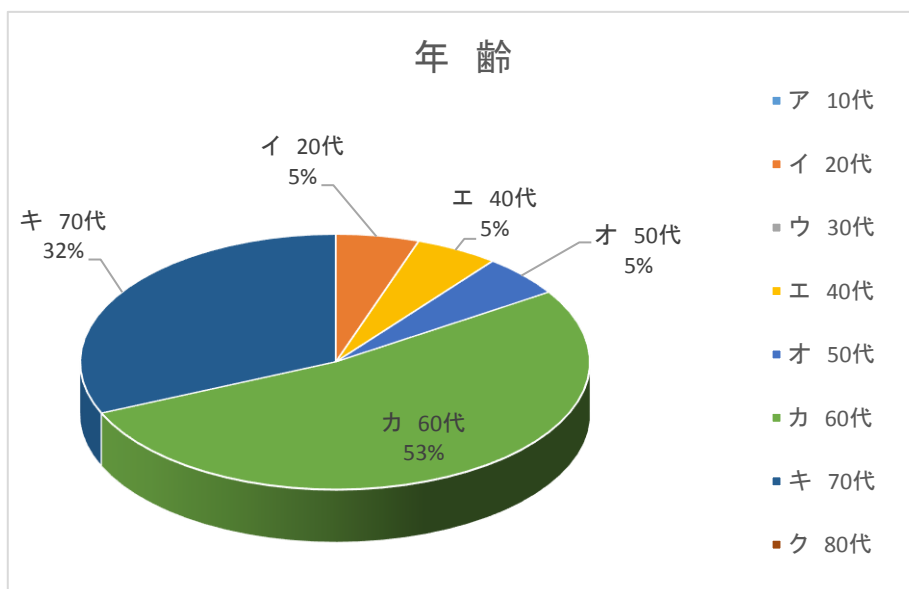
平成29年度 生活訓練に関する満足度調査結果（グラフ）

1	性別	ア 男性	イ 女性						
		8	10						
2	年齢	ア 10代	イ 20代	ウ 30代	エ 40代	オ 50代	カ 60代	キ 70代	ク 80代
			1		1	1	10	6	
3	障がい程度	ア 1級	イ 2級	ウ 3級	エ 4級	オ 5級	カ 6級		
		13	6						
		ア 満足	イ 普通	ウ 不満足					
4	講座開催の周知方法	11	7						
5	講座の実施内容	8	9	1					
6	講座の実施回数	7	10	1					
7	講座の配付資料の種類・内容	6	8	3					
8	講座の指導方法	8	8	1					
9	講座での職員数や職員の対応	9	6	2					
10	講座で使用する設備や備品	4	12	1					

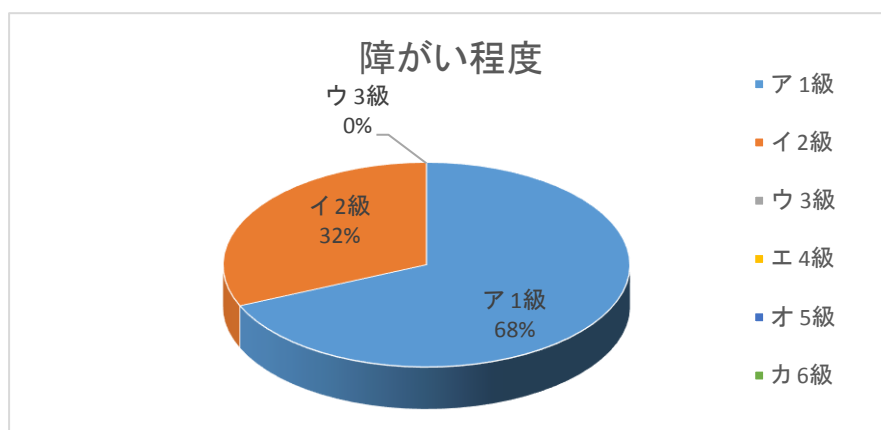
1	性別	ア 男性	イ 女性
		8	10



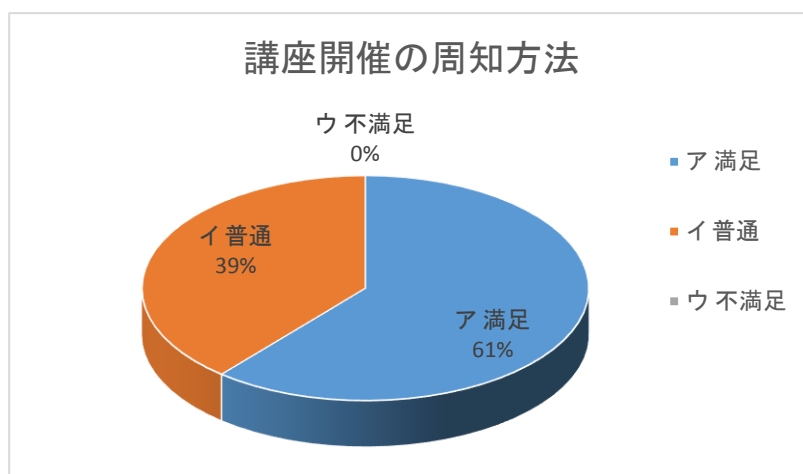
2	年齢	ア 10代	イ 20代	ウ 30代	エ 40代	オ 50代	カ 60代	キ 70代	ク 80代
			1		1	1	10	6	



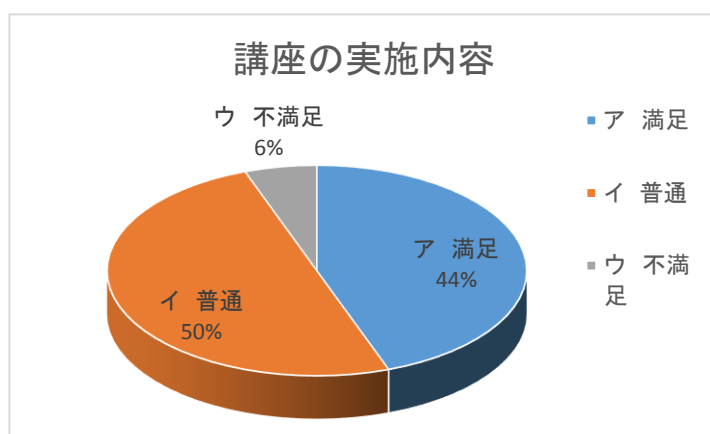
3	障がい程度	ア 1級	イ 2級	ウ 3級	エ 4級	オ 5級	カ 6級
		13	6				



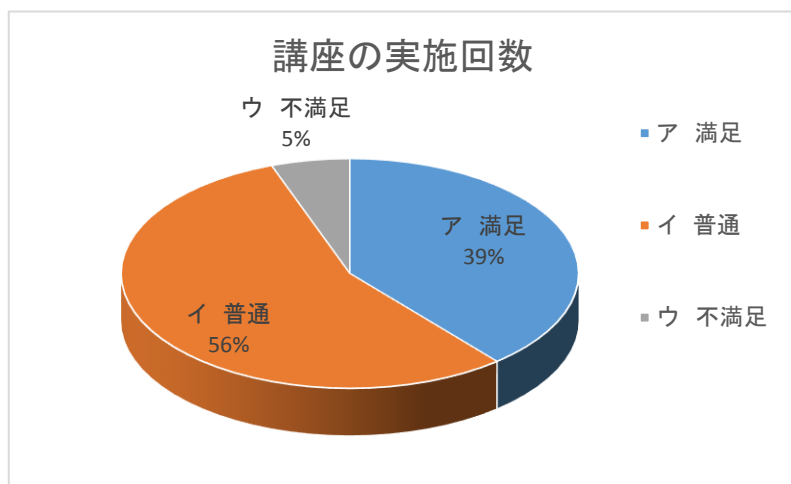
4	講座開催の周知方法	ア 満足	イ 普通	ウ 不満足
		11	7	



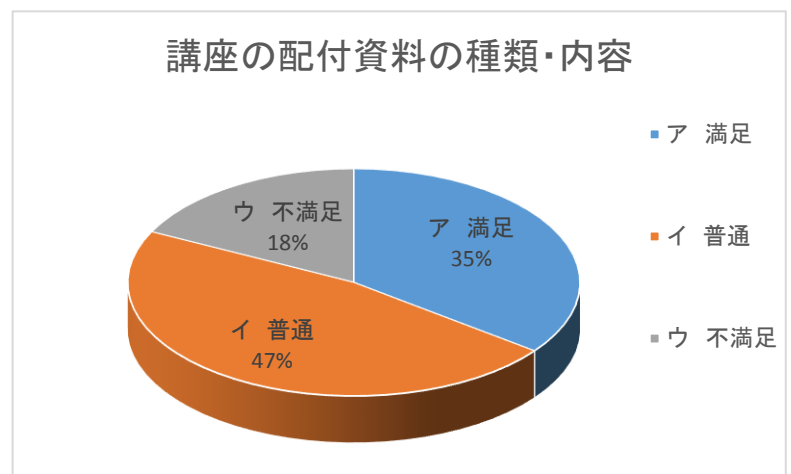
5	講座の実施内容	ア 満足	イ 普通	ウ 不満足
		8	9	1



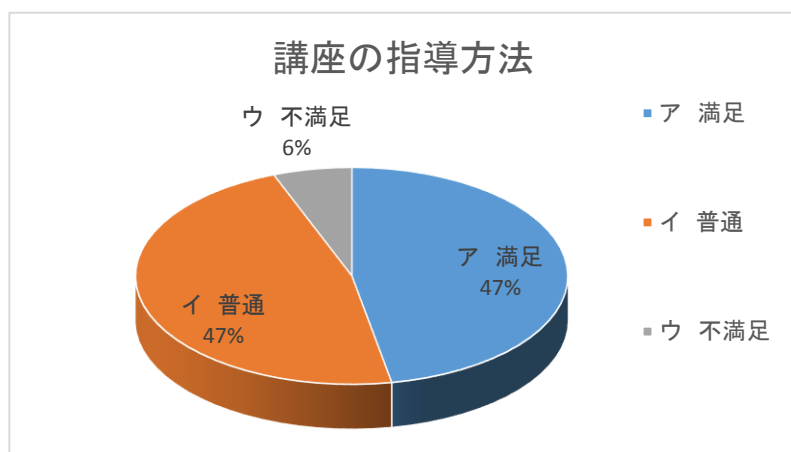
6	講座の実施回数	ア 満足	イ 普通	ウ 不満足
		7	10	1



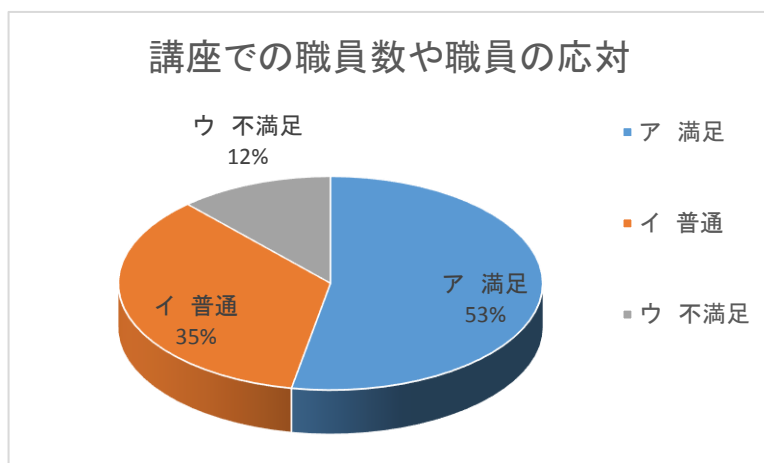
7	講座の配付資料の種類・内容	ア 満足	イ 普通	ウ 不満足
		6	8	3



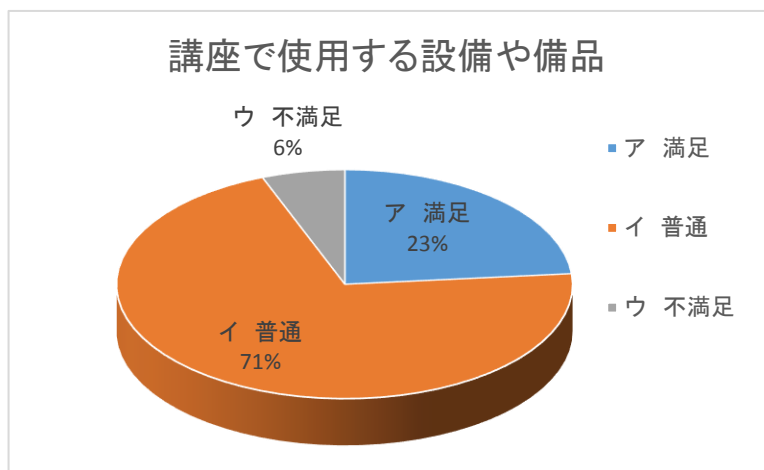
8	講座の指導方法	ア 満足	イ 普通	ウ 不満足
		8	8	1



9	講座での職員数や職員の応対	ア 満足	イ 普通	ウ 不満足
		9	6	2



10	講座で使用する設備や備品	ア 満足	イ 普通	ウ 不満足
		4	12	1



平成 29 年度 生活訓練に関する満足度調査結果（ご意見・ご要望）

番号	ご 意 見 ・ ご 要 望	
1	Q	情報関係の講座数と受け入れ人数を増やして欲しい。
	A	ご意見ありがとうございます。情報機器に関しては、機器の操作方法や、音声ソフトの扱い方など、その方のご希望に沿って、個別に、より細かくご要望にお応えするため、平成30年度より個別対応を中心に実施させていただいております。情報機器講座については、不定期ではございますが、今後も実施予定ですので、ご希望があればいつでもお問い合わせくださいますようお願いいたします。
2	Q	新しいグッズをしょうかいしてくれるのがうれしいです 中途失明に間近の人にしょうかいして喜ばれています。
	A	ご意見ありがとうございます。今後も、最新の日常生活用具や便利グッズなどを展示・情報提供できるよう努めてまいります。
3	Q	野外活動がしたい（名所めぐり、ウォーキング、グルメなど）
	A	ご意見ありがとうございます。センターでは、「いろいろカルチャー講座」として、健康で文化的な生活を送るために必要な情報や技術を習得するための様々なプログラムを実施する予定です。ご提案くださった内容につきまして、今後のいろいろカルチャー講座を計画する上で参考とさせていただき、皆様にとって魅力的な講座等が開催できるよう努めたいと思っております。
4	Q	徳島市内でないので再々行けない。 行き、帰りの行定が必要だが今後努めて参加したい。
	A	平成30年度より、訪問形式での支援体制を拡充しました。地理的条件等や障がい福祉サービスの利用が難しいことで通所が困難な方については職員が出向き、ご自宅等で訓練を実施いたします。ご希望がございましたら、お問い合わせくださいますようお願いいたします。
5	Q	職員数をふやして欲しい
	A	平成30年度より生活訓練担当者を1名増員しております。いろいろカルチャー講座がさらに充実できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
6	Q	センターにおける映画を見たい。1年に3、4回位。
	A	不定期開催ではございますが、平成30年度も音声解説付きDVD体験会を開催する予定です。
7	Q	防災についての講座（そなえ等）を開いてほしいです。
	A	ご意見ありがとうございます。視覚障がい者の防災等については、当センターといたしましても重要課題であると考え、これまでも「視覚障がい者のための防災ハンドブック」の発行、地域での防災講座開催、津波被害が大きいと想定されている地域の指定緊急避難場所一覧の点字・録音・拡大版の発行などに取り組んでまいりました。昨年度は、9月8日に「視覚障がい者等災害時要配慮者支援のための研修会」として、県外講師を招き、地域の自主防災会などを対象に、視覚障がいについての理解や、アイマスク・ロービジョン体験をとおして、視覚障がい者にどのような支援ができるのかを考えていただく機会をもちました。今後も、これまで同様、防災講座を含め、防災に関わる啓発等に努めてまいります。
8	Q	おせわに なっています。いろいろと かんがえていただき ありがとうございます。ひとつ ていあんです。みなさん それぞれ しゅみ とくぎを もっておられます。そこで それを いかして なにか ひとの やくにたてれば ありがたいかなと おもいます。そんな ばを てきょーして いただけたらと おもいます。
	A	ご意見ありがとうございます。今後のいろいろカルチャー講座を計画する上で参考とさせていただきます。
9	Q	ちいきの ほうもんしえん かいすう ふやしてほしい
	A	平成30年度より、訪問形式での支援体制を拡充しました。地理的条件等や障がい福祉サービスの利用が難しいことで通所が困難な方については職員が出向き、ご自宅等で訓練を実施いたします。ご希望がございましたら、お問い合わせくださいますようお願いいたします。